

## 第 50 回熱シンポジウム

### 「建築熱環境を考える:これまでの 50 年とこれからの 50 年」

熱シンポジウムは、大阪万博が開催された 1970 年に第 1 回が開催され、以降 1972 年と昨年を除き毎年開催され 50 回の節目の年を迎える。そこで今回はこれを記念して、熱環境運営委員会傘下の小委員会 5 つがそれぞれセッションを担当し、2 日間に渡り「建築熱環境」のこれまでとこれからについて考えることにしたい。折しも COVID-19 対策による生活様式の変容や二酸化炭素排出量を 2030 年までに 2013 年比 46%減、2050 年までにカーボンニュートラル化を目標とすることを宣言するなど大きな変革の時期が訪れている。これから先の不確実な時代に、どのようなゴールを思い描き、それに向けてどのようなアプローチをとるべきか、これまでの研究・開発の歴史を振り返りつつ今後の方向性について議論する。

主催：日本建築学会 環境工学委員会 熱環境運営委員会

開催日時：2021 年 10 月 30 日（土）13:00～17:00 および 31 日（日）9:00～16:00

開催場所：①建築会館ホール（東京都港区芝 5-26-20）

②オンライン（Zoom Webinar）

※申込方法・参加方法は 3 ページ目をご覧ください。

#### プログラム

【1 日目：10 月 30 日（土）】12:40 開場、13:10 開始

司会：中山哲士（岡山理科大学）

趣旨説明 永田明寛（東京都立大学）

13:20～15:05 セッション① 「多様な建築伝熱研究の必要性」

司会・進行：伝熱小委員会

- ・【特別講演】石野久彌（都立大名誉教授）：「建築伝熱研究のこれまで」
- ・萩原伸治（建材試験センター）：「建材熱性能基準に関する国内と国際的な動向」
- ・武田仁（東京理科大学）：「東京 60 年の冷暖房負荷の推移」
- ・品川浩一（日本設計）：「ZEB と環境シミュレーション」
- ・奥山博康（神奈川大学）：「多数室建物の伝熱と換気のシステム同定法」
- ・糸井川高穂（宇都宮大学）：「建材内部の通気と熱性能の実測」

15:15～17:00 セッション② 「環境を統合するバイオクライマティックデザイン」

司会・進行：バイオクライマティックデザイン小委員会

- ・【インタビュー】小玉祐一郎（神戸芸術工科大学名誉教授）・金子尚志（インタビュアー、滋賀県立大学）：「バイオクライマティックデザイン小委員会の研究史」
- ・中谷岳史（信州大学）：「温熱環境における適応と限界」
- ・金子尚志（前掲）、鷺坂研吾（中谷研究室）、宮本弥一・刃刀虎之介・中谷祐紀（金子研究室）：「バイオクライマティックデザインに何が可能か」（金子）＋「バイオクライマティックデザインに基づいた住宅設計のケーススタディー適応モデルとパッシブ気候図の活用ー」（学生発表）
- ・斉藤雅也（札幌市立大学）、佐々木優二（北海道立総合研究機構）：「地域の気候風土を活かす「住みこなし」の想像温度による診断」（斉藤）＋「熱中症の想像温度による診断」（佐々木）
- ・長谷川兼一（秋田県立大学）：「住まいの健康性と建築環境への気づき」

**【2日目：10月31日（日）】8:30 開場、9:00 開始**

**9:00～10:45 セッション③ 「温熱感研究の歴史とこれからの役割」**

司会・進行：温熱感小委員会

- ・ 齋藤輝幸（名古屋大学）：趣旨説明
- ・ 【特別講演】磯田則生（奈良女子大学）：「これまでの温熱感研究」
- ・ 後藤伴延（東北大学）：「健康影響評価のための人体モデル開発」
- ・ 三上功生（日本大学）：「頸髄損傷者の温熱環境に関する研究」
- ・ 都築和代（関西大学）：「季節の室内温熱環境が睡眠に及ぼす影響」
- ・ 佐古井智紀（信州大学）：「防護服・作業服の温熱快適性改善」

**10:55～12:40 セッション④ 「湿気研究のこれまでと今後の展望」**

司会・進行：湿気小委員会

- ・ 司会・趣旨説明：小椋大輔（京都大学）
- ・ 【特別講演】鉾井修一（京都大学名誉教授・東南大学）：「これまでの湿気研究」
- ・ 安福勝（近畿大学）：「多孔質建材の湿気物性に関連する近年の進展と課題」
- ・ 北原博幸（トータルシステム研究所）：「歴史的建築物における甲虫類駆除のための湿度制御温風処理」
- ・ 尾崎明仁（九州大学）：「再生可能エネルギーを利用した夏季除湿と冬季集熱が可能なインテリジェント PDSC 外被システムの開発」
- ・ 高田暁（神戸大学）：「湿気が健康に及ぼす直接的影響の探究」

12:40～13:40 （昼休み）

**13:40～15:25 セッション⑤ 「建築・都市熱環境の明るい将来に向けて」**

司会・進行：建築・都市熱環境に関する将来構想小委員会

- ・ 趣旨説明：細淵勇人（愛知工業大学）
- ・ 窪田真樹（有明工業高等専門学校）：「変動する標準年気象データとその対応について」
- ・ 一ノ瀬雅之（東京都立大学）：「アジアを基軸とした環境建築の考究」
- ・ 高瀬幸造（東京理科大学）：「住宅に求められる熱・省エネルギー性能の展望」
- ・ 川久保 俊（法政大学）：「都市熱環境の時空間モニタリング」
- ・ 徳村朋子（竹中工務店）：「ニューノーマルな働き方とオフィス環境の将来像」
- ・ 水出喜太郎（日建設計）：「進化する環境デザイン — 開かれた建築、社会へ —」

**15:35～16:35 パネルディスカッション**

・ 司会：永田明寛（前掲）、パネリスト：森太郎（北海道大学・伝熱小委員会）、金子尚志（前掲・バイオクライマティックデザイン小委員会）、齋藤輝幸（前掲・温熱感小委員会）、高田暁（前掲・湿気小委員会）、細淵勇人（前掲・建築・都市熱環境に関する将来構想小委員会）

16:35～16:40 まとめと閉会の辞： 尾崎明仁（前掲）

---

参加費：会員 2,000 円、会員外 3,000 円、学生 1,000 円（PDF 資料代含む）

定員：40 名（申し込み先着順）＋オンライン 400 名

申込方法：建築学会 Web サイトの「催し物・公募」よりお申し込み下さい。

※3 ページ目に記載の参加方法・注意事項等をよくご確認のうえ、お手続きください。

<https://www.aij.or.jp/event/list.html>

問合せ：日本建築学会事務局 事業グループ 伊佐野 mail: isano@aij.or.jp tel: 03-3456-2057

## 第 50 回熱シンポジウム

「建築熱環境を考える:これまでの 50 年とこれからの 50 年」

# 定員・参加費・申込方法等：

	①建築会館ホール	②オンライン (Zoom Webinar)
定員	40 名 (申込み先着順)	400 名 (申込み先着順)
参加費	会 員 ・ ・ ・ ・ 2,000 円 会 員 外 ・ ・ ・ ・ 3,000 円 学 生 ・ ・ ・ ・ 1,000 円 [会員/会員外] ※開催日までに PDF 資料をお送りいたします。	
申込方法	クレジット決済による Web 事前申込み	
申込 URL	<a href="https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=653320">https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=653320</a>	<a href="https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=653319">https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=653319</a>
申込締切	2021 年 10 月 27 日 (水)	
参加方法	①の参加者は、申込時に発行される PDF 参加券を必ずプリントアウトのうえ、当日受付にご提出ください (スマートフォン等による画面提示はご遠慮ください)。 開催 2 日前を目途に PDF 資料を、会員の方はお申込み時にサインインしたメールアドレス宛に、それ以外の方はお申込み時に入力されたメールアドレス宛にお送りしますので届かない場合は開催前日までに以下問合せ先にご連絡ください。	②に参加申込みされる方は、会場での講演を Zoom でリアルタイム配信いたします。開催 2 日前を目途に視聴用 URL と PDF 資料を、会員の方はお申込み時にサインインしたメールアドレス宛に、それ以外の方はお申込み時に入力されたメールアドレス宛にお送りしますので、届かない場合は開催前日までに以下問合せ先にご連絡ください。

### 参加申込みにあたっての注意事項：

- ・発表が一部、録画映像となる場合がございます。
  - ・新型コロナウイルス感染症の感染状況等により、参加はすべてオンライン (Zoom 等) に変更される場合があります。その場合は参加者にメールでご案内を差し上げますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。
  - ・領収証が必要な方は、お申し込み後に送られてくる「お申込み受付完了通知メール」内の領収証ダウンロード用 URL から発行することができます。
- ※領収証の宛名はお申し込み時に入力いただいたものとなりますので、ご注意ください。
- ・参加申込み後の払い戻しならびに会場の変更はできません

問合せ：日本建築学会事務局 事業グループ 伊佐野

Tel: 03-3456-2057 E-mail: [isano@aij.or.jp](mailto:isano@aij.or.jp)

### 新型コロナウイルス感染症の予防および拡散防止に関する会場参加者へのお願い

- ・発熱、咳等の症状がみられる方は、体調を最優先していただき、ご来場を控えてください。
- ・マスクを着用のうえご来場ください。
- ・手指の消毒、咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・整列時や入退館時には人と人との適切な距離の確保にご協力ください。
- ・過去2週間以内に、引き続き感染が拡大している国・地域に訪問歴がある場合はご来場を控えてください。
- ・万一、参加者の感染が確認された場合で、保健当局において他の受講者が濃厚接触者に該当すると判断された場合、受講者の連絡先等の情報提供が要請されることがあります。公益性の観点から、このような要請があった場合は保健当局等に対して必要な情報を提供させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。